

# ライオンズ茨木総持寺ステーショングラン



# 建物概要



所在地 : 茨木市庄一丁目347番1 (地番)

用途 : 共同住宅

敷地面積 : 6,664.16㎡

建築面積 : 2,492.01㎡ (CASBEE届出対象範囲)

延べ面積 : 21,322.12㎡ (CASBEE届出対象範囲)

構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 地上14階

戸数 : 279戸



# ～建物が駅力を高める未来を見据えた永続のすまい～

## 環境への配慮

ZEH-M Oriented水準の住棟・住戸  
周辺環境に配慮した植栽計画

## 災害への備え・防災への配慮

太陽光パネル・蓄電池設置  
防災倉庫に防災備品を保管

## 未来を見据えた住まい

安全・安心・快適な暮らしの実現  
空気環境に配慮した共用空間

■高層ZEH-M支援事業に採択

- ZEH-M Oriented による環境にやさしい建物
- 一次エネルギー消費量30%以上削減
- BELSによる第三者認証 最上級5つ星を取得



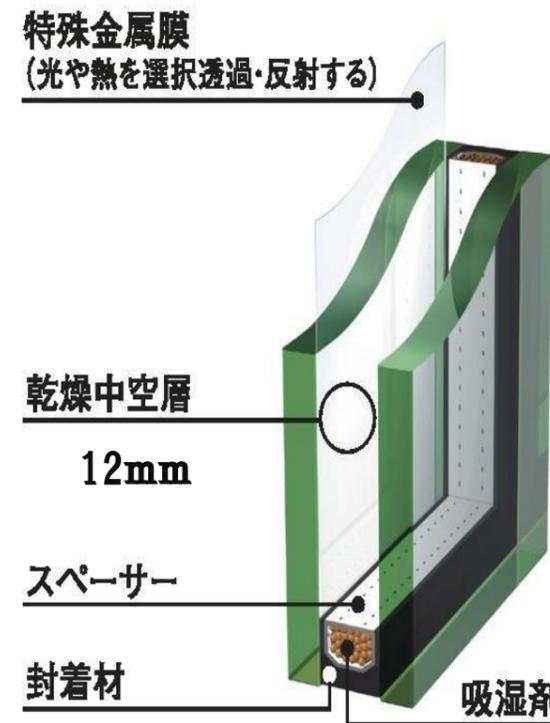
一次エネルギー消費量

- 住棟 33%削減
- 住戸 26~34% (平均30%) 削減

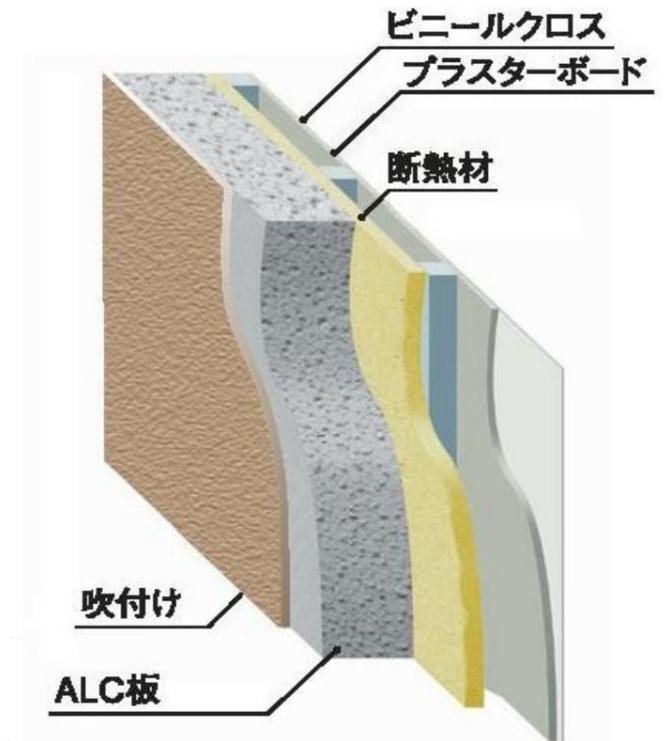
■専有部での配慮～高い断熱性

- 居室の全ての開口部にはLow-E複層ガラスを採用、遮熱・断熱効果を高め節電に配慮
- 外部に面する躯体内部には、HFO品であるA種1Hの断熱材50mm又は、60mmを施工

● Low-E複層ガラス断面図 (参考イメージ)



● 外壁断面図 (参考イメージ)



$$U_A = 0.6 \text{ W/m}^2 \cdot \text{K} \text{ 以下}$$

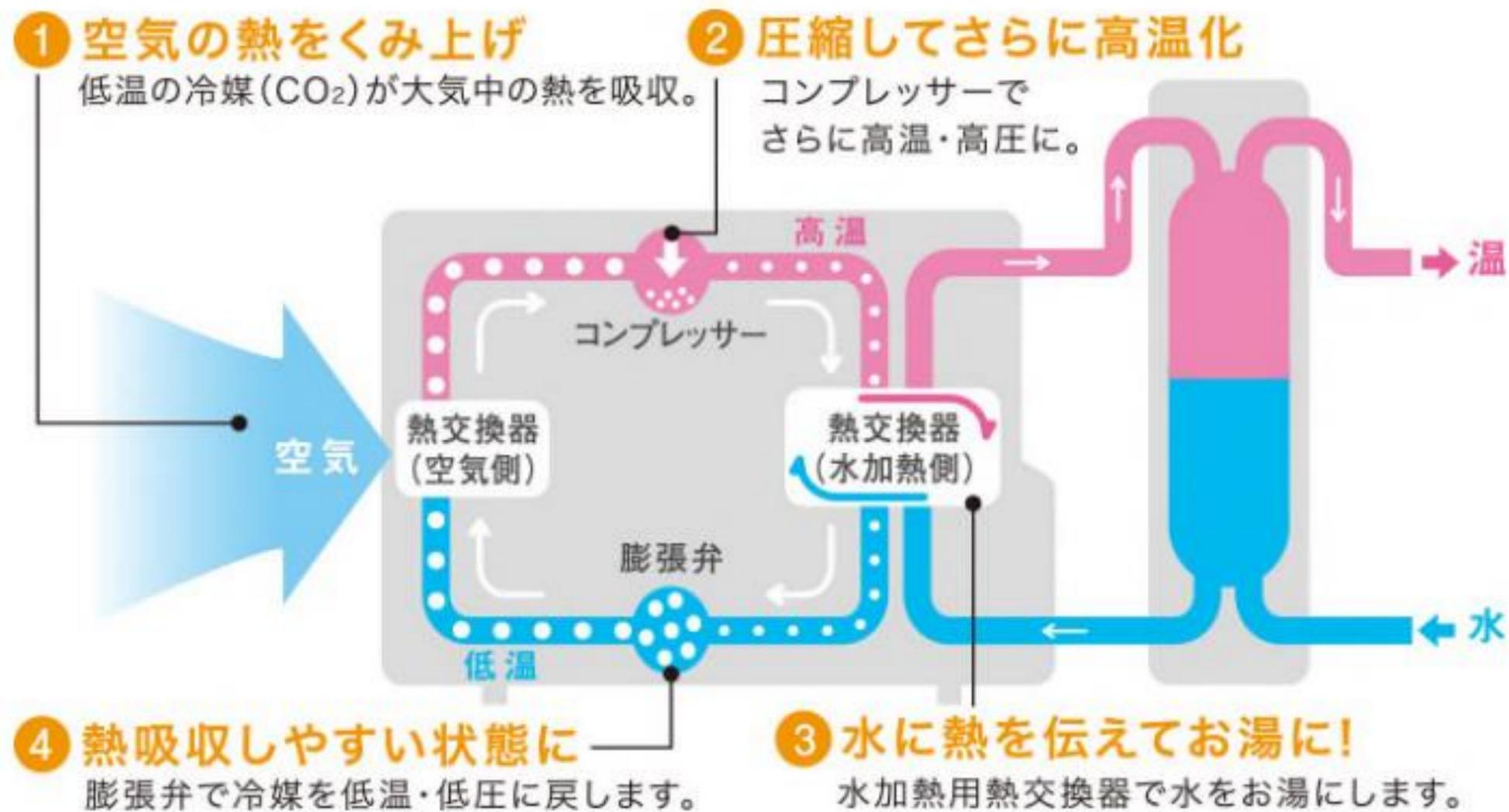
$$\eta_A = 2.8 \text{ W/m}^2 \cdot \text{K} \text{ 以下}$$

■エコキュート

大気熱を利用してお湯を沸かす、地球環境への負荷をおさえた自然冷媒（CO2）ヒートポンプ給湯器「エコキュート」を全戸に採用。

地球温暖化の原因CO2の削減と、電力消費量削減に配慮。

●エコキュートのしくみ (出典:三菱電機)

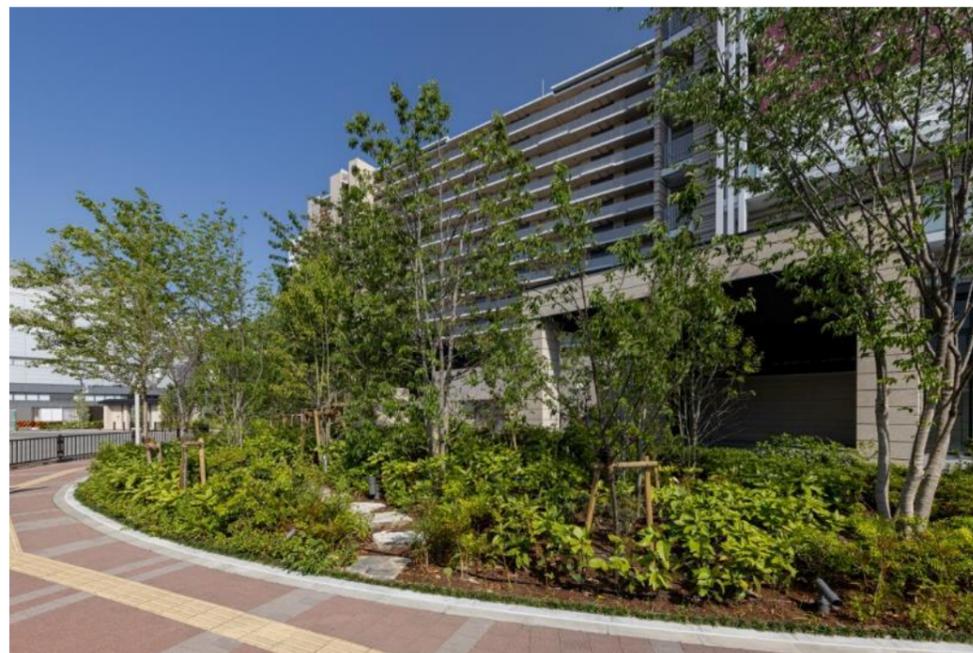


エコキュート (参考写真)

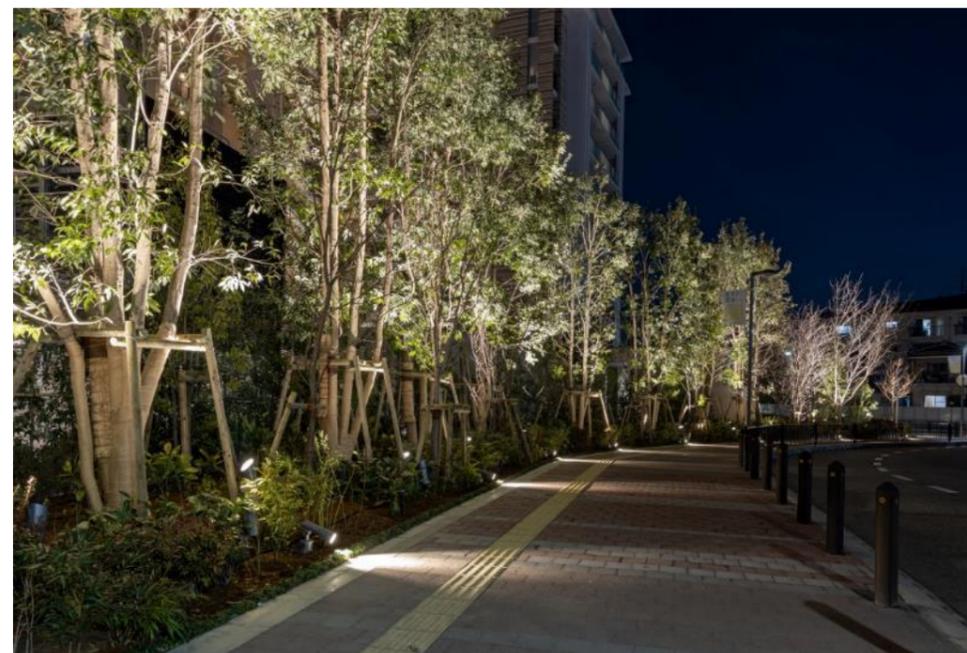


敷地境界沿には緑地帯を設け、在来種・地域に由来する樹種を中心に植樹、駅前風景を一新する景観を創造。

生物多様性保全に貢献するとともに、ここに住まう人・街の資産となる風景を描き出す。



駅前ロータリー沿い（昼景）



駅前ロータリー沿い（夜景）

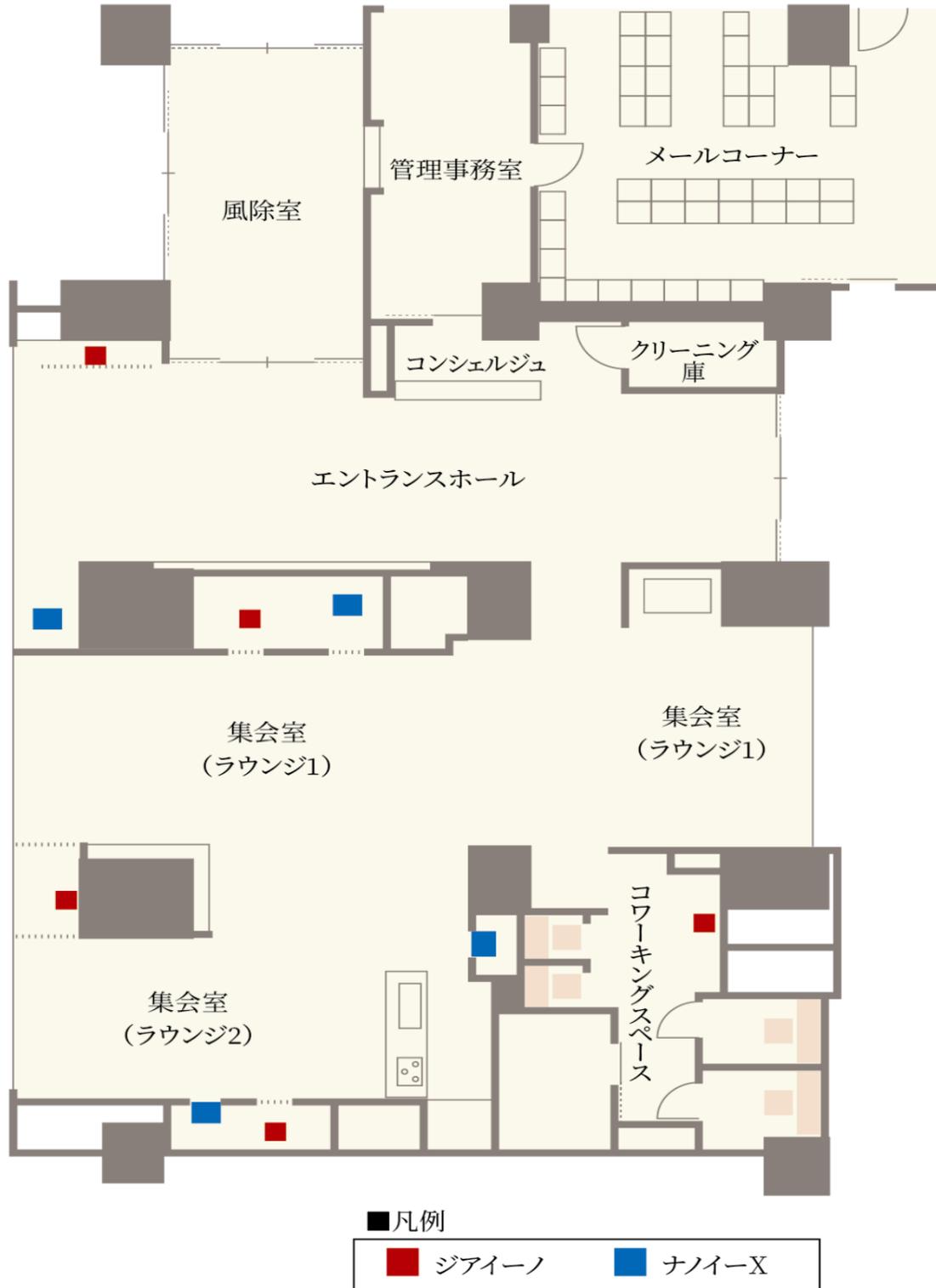


西側道路境界沿い

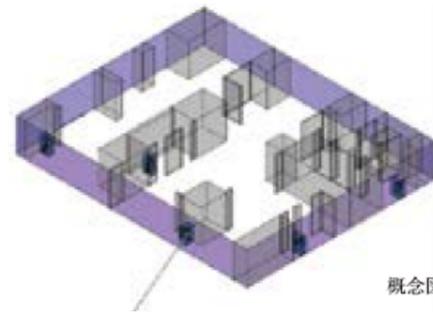
■空気環境配慮仕様

エントランスラウンジに次亜塩素酸空気除菌脱臭機「ジアイーノ」を考慮し設置。健康的で心地よい空間を提供。

微粒子イオンフィルター搭載全熱交換機「ナノイーX」を気流分布

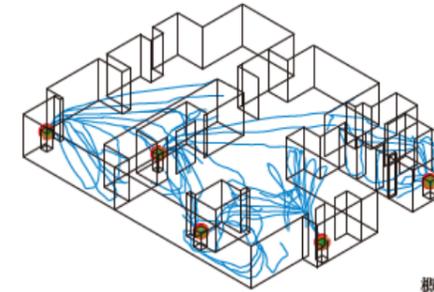


機器配置図



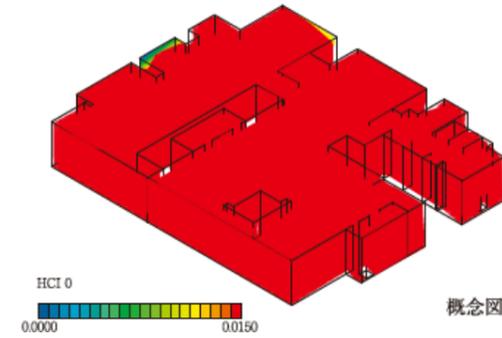
概念図

気流分布図



概念図

次亜塩素酸ガス濃度分布図



概念図

● ジアイーノ (参考写真)



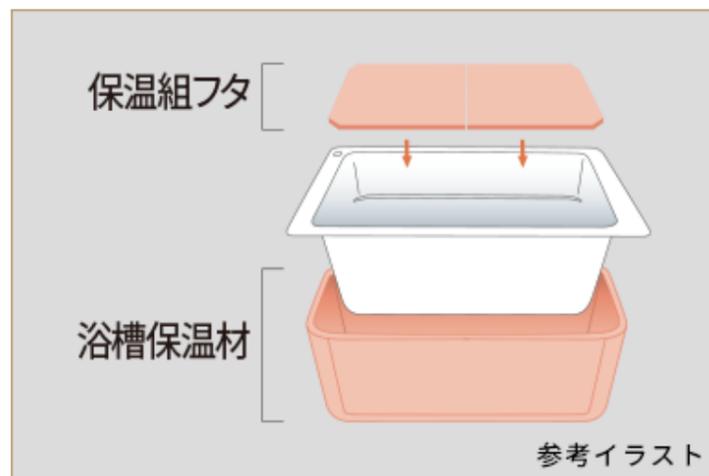
● ナノイーX (参考写真)



■サーモバス・節水トイレ

住戸のユニットバスには保温組蓋と保温浴槽を採用、  
トイレには節水型トイレを採用、高熱費の節約・資源の有効利用を図る。

保温組フタと保温浴槽のダブル保温



●保温浴槽



●節水型トイレ  
(参考写真)

■LED照明、人感センサー

主な照明器具にはLEDライトを採用。長寿命で消費電力が少なく、省エネに貢献。また、住戸玄関には人感センサーを設置、消し忘れ等による消費電力を軽減。

※住戸内：キッチンのレンジフード、標準設置の照明器具に採用



●LEDライト  
(参考写真)



●人感センサー  
(参考写真)

■ごみ排出量の削減

生ごみを粉碎しバイオの力で分解処理して下水道へ流す ディスポーザ  
排水処理システム採用。生ごみの減量化、インフラ負担への軽減、衛生害虫の発生予防の衛生的な住環境保持を図る。



●ディスポーザ  
(参考写真)

- ・1階共用部に防災倉庫を設置し、災害時の安全性の確保・生活環境維持の対応に配慮。建物地下に貯水槽を設置し、災害時の安全性の確保・生活環境維持の対応に配慮。ポータブル発電機、携帯充電機能付ラジオライト、救急箱、マンホールトイレなどを保管。

●防災倉庫



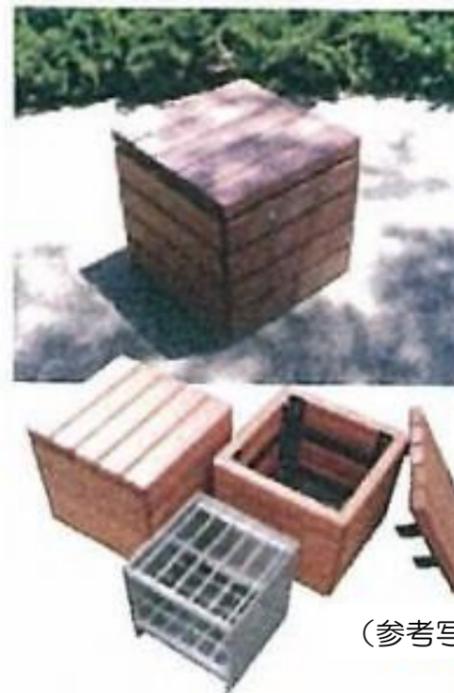
(参考写真)

●ポータブル発電機



(参考写真)

●カマドスツール



(参考写真)

●マンホールトイレ



(参考写真)

●救急箱



(参考写真)

●携帯充電機能付ラジオライト



(参考写真)

- ・太陽光パネル・蓄電池設置により、災害時に1週間以上のライフラインを維持。平常時には共用部の一部に余剰電力を供給、省エネに貢献。



●太陽光パネル (参考写真)

完成写真







エントランスアプローチ



敷地内舗道



エントランスホール



ラウンジ

